

令和8年8月20日

少数台数のリコール届出の公表について (令和8年7月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、令和8年7月は12件の届出がありましたので公表します。

なお、対象が100台未満となるリコールで、既に公表済みのもの3件については、こちらへの記載はしておりません。

1. 日立建機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月1日	5847	車名：日立 型式：YDN-TAEA 通称名：ZC220P-7	29台	令和6年2月28日 ～ 令和7年1月30日
不具合の部位等				
タイヤ・ローラの計器盤であるモニタパネルにおいて、製造時の防水パッキンの組み付けが不適切なものがある。そのため、当該パネル内部に水が浸入し、液晶表示盤の機能が損なわれると、積算走行距離計が正しく表示されないおそれがある。				

2. 株式会社小松製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月15日	5851	車名：コマツ 型式：YDS-WA135 他 通称名：WA320-8 他	13台	令和8年2月19日 ～ 令和8年3月12日
不具合の部位等				
ショベル・ローダの番号灯において、部品管理が不適切なため、24V仕様の車両に12V仕様の白熱電球を組み付けたものがある。そのため、当該電球に24Vが印加されて異常発熱し、フィラメントが断線して番号灯が不灯となるおそれがある。				

3. 日産自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月23日	5844	車名：ニッサン 型式：6AA-E13 他 通称名：ノート 他	9台	令和4年4月12日 ～ 令和6年12月5日
不具合の部位等				
車両製作工場の完成検査において、完成検査工程の管理が不適切なため、ホイールの脱着を伴う抜取評価実施後、ホイール締結部の締付け確認が実施されていない。				

4. 極東開発工業株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月27日	5857	車名：三菱 型式：2RG-FEB80 他 通称名：ふそうキャンター	47台	令和7年7月2日 ～ 令和8年5月14日
不具合の部位等				
1台積み車両運搬車において、製造時の作業指示が不適切なため、番号灯に誤って24V電源配線を接続したものがある。そのため、許容電圧を大幅に超過するため、フィラメントが過熱して断線し、番号灯が点灯しないことから、保安基準に適合しない。				

5. 株式会社小松製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月28日	5859	車名：コマツ 型式：EBT-M293 他 通称名：FG35-10 他	6台	令和5年4月28日 ～ 令和7年8月20日
不具合の部位等				
LPGを燃料とするフォーク・リフトにおいて、ベーパーライザホースの組付指示が不適切なため、当該ホースの差し込み不足及びクランプ締結箇所が正規の位置と異なっているものがある。そのため、エンジン振動等の繰り返し荷重によりクランプ締結箇所付近のホースに亀裂が生じ、そのまま使用を続けると、LPGが漏れるおそれがある。				

6. ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月28日	外4218	車名：ランドローバー 型式：3CA-LE72WAB 他 通称名：DEFENDER 110	4台	令和8年1月22日 ～ 令和8年1月28日
不具合の部位等				
樹脂製燃料タンクにおいて、製造工程が不適切なため、部分的に厚みが設計基準値に達していないものがある。そのため、衝撃等で燃料タンクが損傷し、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。				

7. ジャガー・ランドローバー・ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月28日	外4219	車名：ランドローバー 型式：3LA-LC15TD 他 通称名：ディスカバリースポーツ PHEV 他	2台	令和4年4月6日 ～ 令和4年8月30日
不具合の部位等				
ハイブリッド用リチウムイオン電池において、電池内部の構成部品の形状が不均一なため、熱負荷に対する耐性が不足しているものがある。そのため、使用状況によっては火災が発生するおそれがある。				

8. トヨタ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	製作期間
7月29日	5860	車名：TMT 型式：3BA-TRJ240W 通称名：ランドクルーザー	3台	令和8年5月8日 ～ 令和8年6月8日
不具合の部位等				
車両工場の検査工程において、コンピュータの機能検査および調整が正しく行われていなかったため、道路運送車両の保安基準にかかるシートベルトリマインダおよび事故緊急通報装置の基準に適合しないおそれがある。				

9. S t e l l a n t i s ジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名	対象台数	輸入期間
7月31日	外4221	車名：フィアット 他 型式：ZAA-FA1 他 通称名：500e	11台	令和5年11月20日 ～ 令和5年12月19日
不具合の部位等				
リヤスポイラーにおいて、接着工程が不適切なため、リヤスポイラー上部パネルの接着が弱いものがある。 そのため、そのまま使用を続けると、接着部分が剥がれ、最悪の場合、走行時の風圧等によりリヤスポイラー上部パネルが脱落して、他の交通の妨げとなるおそれがある。				

【参考】

●令和8年7月のリコール届出件数

全体（件）		内 訳（件）	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	2 0（－2）	1 2（－6）	8（＋4）
輸入車	1 7（＋2）	1 3（＋6）	4（－4）
計	3 7（±0）	2 5（±0）	1 2（±0）

※ （ ）内は、対前年度同月比

●令和8年度のリコール総届出件数及び総対象台数

<速報値>

月	届出件数（件）			対 象 台 数（台）		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	15(+6)	9(-12)	24(-6)	65,036(-77,735)	32,239(-7,092)	97,275(-84,827)
5	11(-5)	15(-3)	26(-8)	85,404(-54,986)	11,330(-12,174)	96,734(-67,160)
6	18(-4)	12(-16)	30(-20)	826,780(+684,457)	7,981(-30,368)	834,761(+654,089)
7	20(-2)	17(+2)	37(±0)	837,200(+136,824)	63,753(+37,776)	900,953(+174,600)
小計	64(-5)	53(-29)	117(-34)	1,814,420(+688,560)	115,303(-11,858)	1,929,723(+676,702)

※ （ ）内は、対前年度同月比

（問い合わせ先）

国土交通省物流・自動車局審査・リコール課 リコール監理室 太田・藤坂 電話 03-5253-8111（代表）（内線 42353）
--